

平成25年度  
専門学校盛岡カレッジオブビジネス  
自己点検結果報告書

平成25年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館専門学校盛岡カレッジオブビジネスの自己点検・評価結果を公表いたします。

平成26年9月30日

学校法人龍澤学館

理事長 龍澤 正美

1. 学校の教育目標

『社会で活躍できるホスピタリティ精神あふれる人材の育成』

働くことに夢とやりがいを持ち、仕事を通して地域社会に貢献していく力、未来を創造していく力  
柔軟に対応できる力を備えた人材の育成を教育目標とする

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

社会人基礎力として「基礎学力の向上」と「社会人教養力の向上」、専門力発揮に向けて「専門能力の習得と実践的活動」、地域の一員としての自覚を備えるために「地域連携と地域貢献」を基盤とした教育を進めていく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	教育理念・育成人材像等、学生・保護者に提示をしているが、入学当初の周知のみで継続的ではないため検討が必要である。	
改善策	教育理念や目標、人材育成像を継続的に周知していくために、ホームページ等の媒体を有効活用するよう検討していく。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
課題	組織体制は整備されているが、規則等が明確化されていないところもあるため検討が必要である。また、教育活動の情報公開が部分的であるため総合的な公開ができるよう対策を考える必要がある。	
改善策	教育活動の情報公開については、部分的にならないよう様々な広報媒体を活用して情報公開できるよう検討を進める。	

### (3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
課題	授業評価、教職員の能力開発についての体系化が十分とは言えないところもあるため、仕組みを整備する必要がある。	
改善策	授業評価、教職員の指導力研修等については、年間スケジュールで調整をしながら体系化できるように検討していく。	

### (4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	卒業生の活躍把握に向けホームページで卒業生紹介を設けるようにし整備したが、体系化が十分でないため、キャリア形成の状況把握が部分的である。	
改善策	卒業生の全体的把握に向け、ホームページなどの媒体を有効活用し、状況把握の仕組みを整備していくように進める。	

### (5) 学生支援

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	2
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
課題	卒業生への支援体制が体系化されていないため、アプローチのあった卒業生だけへの支援になっている。	
改善策	卒業生の状況把握と併せて、ホームページ等を活用して卒業生を支援していける仕組みづくりを行うよう検討していく	

### (6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
課題	教育上必要な設備は整えられているが、施設内で汚れや破損等整備されていない箇所もあるため環境を整える必要がある。	
改善策	校舎内の整備については、環境を整えるよう法人本部と連携を図りながら進めていく。	

### (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	3
課題	学納金は妥当なものとなっているが、定期的な検証が必要か検討する。	
改善策	学納金について検証できるよう、法人本部と連携を図りながら検討していく。	

### (8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課 題	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	
改善策	法人本部と今後も連携を図っていく。	

### (9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4
課 題	個人情報の保護は徹底されているものの、管理規定に不明確な部分もあるため、保護対策を検討する必要がある。	
改善策	個人情報保護対策と自己評価に対しての改善策を徹底していくための体制を整える	

### (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2
課 題	地域活動を通じた社会貢献は積極的に行っているが、講座については高校生中心になっており、公開講座の積極性に欠ける。	
改善策	ボランティア活動等を通して、学科の特色を活かした講座を設けていけるよう地域と連携して検討を進めていく	

#### (11) 国際交流

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
課題	留学生の受け入れはしているものの、戦略的とは言えない。また学習成果の評価が国外まで発信はしていない。	
改善策	留学生の受け入れについての体制を整えて発信していけるようにする	

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標に掲げた社会人基礎力及び専門能力の習得、地域連携については、カリキュラム等に反映し取り組んだことにより成果が見える。特に地域連携については、各学科の専門能力を活かした実践的活動を積極的に行ったことで、総合的な職業能力が身に付く機会となった。

このような教育活動の情報発信を部分的にならないよう、様々な媒体を活用して発信に努める必要がある。また、卒業生の状況把握と支援についても体制を整えられるよう検討を進め、本校の教育改善に努める必要がある。

平成25年度

専門学校盛岡カレッジオブビジネス  
学校関係者評価委員会結果報告書



平成26年9月30日

学校法人 龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

平成25年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 専門学校盛岡カレッジオブビジネスでは、本校規定に基づき、学校関係者委員会を実施いたしました。以下に、その内容を報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
石塚 和宏	株式会社岩手ホテルアンドリゾート	取締役営業統括
高橋 義則	株式会社北日本銀行	取締役人事部長
佐々木 友恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
関 めぐみ	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
廣田 聖亜	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
阿部 瞬	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
藤原 愛美	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
龍澤 正美	学校法人龍澤学館	理事長
龍澤 尚孝	学校法人龍澤学館	本部長
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長
角津田 寿恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	事務局課長
松高 久美子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務主任
石田 京子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務部

## 2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 平成25年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

## 3. 議論内容

本校の教育理念・目標と25年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善策について順次、外部委員の皆様と議論を行った。

### ① 教育理念・目標

学校の理念及び育成人材像については、専門分野と合わせて社会人として必要とされる資質を総合的に学習しているという意見もあり評価をいただいた。保護者に向けての周知が入学当初のみで継続的ではないことに対しては、1年次末に実施している三者面談等で再確認することで理解していただいた。

### ② 学校運営

「運営方針に沿った事業計画の策定」については、事業計画を策定し、法人本部と連携を図りながら運営しており、今後も継続していくことで確認した。教育活動の情報公開については部分的であることから、情報公開の仕方も含めて総合的に公開できるように準備を進めていくことで確認した。

### ③ 教育活動

教育理念に沿ったカリキュラム、また実践的な職業教育が体系化されていることについては、関連分野の企業の声を反映しながら活動されているという意見もあり、今後も継続していくことで確認した。

一方、授業評価、指導体制、教職員の能力開発についての体系化が不十分であることについては、年間スケジュールを調整しながら体制を整備していくことを確認した。

④ 学修成果

就職率について25年度は99%の実績であり高く評価していただいた。実践的授業の充実が学生の成長に繋がり、高い実績になっていることを理解していただいた。卒業生については、現在卒業生の卒業後の状況について十分に把握できていないのが現状である。そのため、キャリア形成についてすべてを把握できていない。このことに対しては「卒業生の状況把握については難しいところもあるだろうが、卒業生の声を教育活動に活かしていければいいと思う。企業としても協力できることはしていきたい」という意見が挙げられた。卒業生の状況把握のための体系化を整えるよう準備を進めていくことを確認した。

⑤ 学生支援

「卒業生への支援体制はあるか」に対し、なぜ評価が低いのかという質問があった。これに対し、本校で卒業生に対して行っている支援は、自分から学校に対しアプローチのあった卒業生に限られており、卒業生全体に対しスキルアップのための講座等を行えていない現状を説明した。これに対し、卒業生のキャリア形成のフォローとしてハローワークやジョブカフェ岩手等と連携して何かできるのではないかという意見をいただいた。この意見に対し、ホームページ等を活用して情報提供等での支援を検討していくこととした。

⑥ 教育環境

施設・設備に関しては、教育上必要なものは整備されているが、校舎内の汚れ等目立つところもあるため整備していくことを確認した。また、防災に対する体制が不十分であり、早急に体制を整え職員・学生に周知を行うこととした。

⑦ 学生の受け入れ募集

募集案内やホームページ等で適切に情報発信していることから、今後も継続して情報発信を行い募集活動をしていくことを確認した。

⑧ 財務

情報公開されていることもあり、特に意見は挙げられなかった。

⑨ 法令等の遵守

「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」については、今回の評価委員会の結果も踏まえ、改善を徹底していけるようにすることを確認した。

#### ⑩ 社会貢献・地域貢献

本校では、いかに地域に密着した活動を行っていくかということに重点を置き、様々なボランティア活動や、地域イベントの運営に積極的に取り組んでいる。そのため、項目1, 2に対し4という評価であることを説明した。これに対し、「一生懸命取り組んでいる。私どもでは発想できない取り組みを行っているので素晴らしい。」と、高く評価をいただいた。今後も、活動がマンネリ化しないよう学生らしいアイデアで地域活動に取り組んでいくことを確認した。

「地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか」に対し、「公開講座はむずかしいのではないか」という意見があった。本校では、高校生に対し講座を行っている。しかし、その発信が高校生向けになっているため、地域や企業の方々に伝わっていないという現状を伝えた。今後は、発信の方法を強化していくことを確認した。

#### ⑪ 国際交流

留学生の受け入れについては、現在受け入れを行っているが戦略的とは言えないため、今後の体制について検討していくことで確認した。

#### 4. まとめ

自己点検の評価項目について、外部委員の方々から地域に密着した実践的な活動を中心に大筋で高い評価をいただいた。若い学生達が地域活動に積極的に取り組んでいくことが郷土愛を持った人材育成であり、また地域の活性化に繋がるため今後の活動にも期待されていることを認識した。

今回の結果と、いただいたアドバイスを参考に、カリキュラムの内容の充実化を図り、教育環境の整備に努めていきたい。

以上